

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	地理歴史科	単位数 (コマ数)	4単位 (4コマ)	履修年次	3年次		
科目名	世界史探究	履修	選択	開講	通年		
教科書	詳説世界史(山川出版)	副教材	・明解世界史図説エスカリエ十三訂版(帝国書院) ・進研WINSTEP世界史探究(ランズ)				
1 学習の目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。					
2 学習の方法							
・単に多くの語句を暗記するだけではなく、その意味や関連を考えながら学習をしてください。 ・「何年に何が起こった」といった具体的な事実だけではなく、「革命がなぜ起こったのか」「戦争はどういう影響を与えたか」など背景や影響など繋がりをもって学習してください。 ・地図や資料の読み取りを大切にしてください。							
3 評価について		①評価の観点					
知識・技能						世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	
思考・判断・表現						世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いているか。	
主体的に学習に取り組む態度		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めているか。					
②評価の方法							
観点	材料	定期 考查	ノート	プリント ワーク	話し合い	評価方法	
知識・技能		○		○		左記の○のうち、定期考查を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。	
思考・判断・表現		○		○	○	左記の○のうち、定期考查をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。	
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。	
4 その他							
・授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。							
5 単元の目標・評価							
単元名	世界中へのまなざし						

単元の目標	(1)「地球環境から見る人類の歴史」では、地球の誕生から現生人類の登場、その地球規模での拡散の様子などを取り上げ、地球の歴史の中での人類の歴史が占める位置や、生活や文化の多様性などについて考察し表現することにより、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 (2)「日常生活からみる世界の歴史」では、身の回りの諸事象から適切な事例を取り上げ、身の回りの諸事象と歴史との関連性などについて考察し表現することにより、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア) 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解しているか。 (イ) 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解しているか。		(ア) 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現しているか。 (イ) 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現しているか。		自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしていか。	

単元名	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成					
単元の目標	(1)「諸地域の歴史的特質への問い」では、資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けるとともに、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察して問いを表現し、この大項目全体の学習に対する課題意識や見通しをもつ。(2)「古代文明の歴史的特質」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、古代文明の歴史的特質を理解する。(3)「諸地域の歴史的特質」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、東アジアと中央ユーラシア、南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア) 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けているか。 (イ) オリент文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解しているか。 (ウ) 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解しているか。 (エ) 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解しているか。 (オ) 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解しているか。		(ア) 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現することができるか。 (イ) 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (ウ) 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (エ) 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (オ) 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。		自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしていか。	

単元名	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編					
単元の目標	(1)「諸地域の交流・再編への問い」では、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けるとともに、諸地域の交流・再編を読み解く基本的な観点について考察し問いを表現し、この大項目全体の学習に対する課題意識や見通しをもつ。(2)「結び付くユーラシアと諸地域」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。(3)「アジア諸地域とヨーロッパの再編」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア諸地域の特質、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア)交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けているか。 (イ) 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解しているか。 (ウ) アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解しているか。 (エ) 西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解しているか。 (オ) 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解しているか。		(ア)交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現しているか。 (イ) 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (ウ) 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (エ) アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (オ) ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。		自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしていか。	

単元名	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容					
単元の目標	(1)「諸地域の結合・変容への問い」では、諸資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けるとともに、諸地域の結合・変容を読み解く基本的な観点について考察し問いを表現し、この大項目全体の学習に対する課題意識や見通しをもつ。(2)「世界市場の形成と諸地域の結合」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する。(3)「帝国主義とナショナリズムの高揚」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。(4)「第二次世界大戦と諸地域の変容」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。					
育成を目指す力	行動・挑⚔力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア) 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けているか。 (イ) 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解しているか。 (ウ) 国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解しているか。 (エ) 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解しているか。 (オ) 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解しているか。 (カ) 世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解しているか。 (キ) 第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解しているか。		(ア) 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現しているか。 (イ) 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (ウ) 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (エ) 列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (オ) 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (カ) 世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (キ) 第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。		自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしていか。	

単元名	第Ⅳ部 地球世界の課題					
単元の目標	(1)「国際機構の形成と平和への模索」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、紛争解決の取組と課題を理解する。(2)「経済のグローバル化と格差の是正」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、格差是正の取組と課題を理解する。(3)「科学技術の高度化と知識基盤社会」では、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、知識基盤社会の展開と課題を理解する。(4)「地球世界の課題の探究」では、持続可能な社会の実現を視野に入れ、①紛争解決や共生、②経済格差の是正や経済発展、③科学技術の発展や文化の変容の中から主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解くなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想して探究し、地球世界の課題を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア) 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解しているか。 (イ) 先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差是正の取組と課題を理解しているか。 (ウ) 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解しているか。 (エ) 歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解しているか。		(ア) 国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (イ) 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (ウ) 科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (エ) 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現しているか。		自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしていか。	

6 年間計画					
学期	月	単元	項目	予定時数	考查
前期	4	世界史へのまなざし 第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の世界形成 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	36	前期 中間 考查
	5				
	6	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 近代ヨーロッパ世界の動向	36	前期 期末 考查
	7				
	8				
	9	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	36	後期 中間 考查
	10				
	11				
	12	第Ⅳ部 地球世界の課題	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界	12	
後期	1				
	2				
	3				